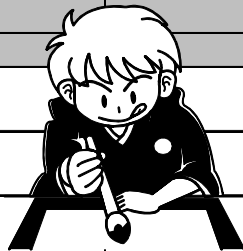


H29年 1月行事予定

	学校行事	PTA行事他
1 日	元日	
2 月	振替休日	
3 火		
4 水		
5 木		
6 金		
7 土		
8 日		
9 月	成人の日	
10 火	3学期始業式, 集金引き落とし日	
11 水	3学期給食開始, 2計測(1年)	
12 木	2計測(2年) めっちゃスマイル体操教室(3年・3,4限)	
13 金	朝学習, 2計測(3年)	
14 土		
15 日		
16 月	朝学習, 2計測(4年)	
17 火	委員会, 2計測(5年)	
18 水	2計測(6年)	
19 木	めっちゃスマイル体操教室(4年・3,4限)	
20 金	朝学習	スクールガートリダー活動日
21 土		PTA運営委員会
22 日		
23 月	朝学習, 書初め巡回展(二小~25日)	
24 火	クラブ	
25 水	児童朝礼	
26 木	学年会 めっちゃスマイル体操教室(3年・3,4限)	家庭教育学級
27 金	朝学習, 4限下校(佐人研大会のため, 給食・掃除あり, 13:30下校)	
28 土	登校日 (月4・5・6限目の時間割, 3限, 11:30下校)	
29 日		
30 月	朝学習	
31 火	クラブ	



## あけまして おめでとうございます



昨年は PTA のみなさまをはじめ、保護者のみなさま、地域のみなさまのおかげで、数々の困難のある中、1 年を乗り切ることができました。本当にお世話になりました。

今年もご理解、ご協力をよろしくおねがいたします。

2学期の終業式で、これまでの子どもたちの成長をみんなで確認し、喜び合いました。また、昨年1年間で「どんな自分になっていたか」、「めざす自分に近づけたか」についても振り返りました。

「1年の計は元旦にあり」といわれます。新しい年を迎え、子どもたちはきっと「こんな自分になりたい」「そのためにこうしたい」というようなことを考えてくれていると思います。昨年も書きましたが、これまでの自分を振り返り、それをもとにこれからどうしていくか、計画を立て実行していく力や、失敗してもその失敗から学んだり、計画を立て直したりできる力も育てたい力です。

「いまここにしかない わたしのいのち あなたのいのち」全ての命が、大切にされ、精一杯生きることが出来る社会をめざしたいものです。

### 学校教育診断票について

昨年末に提出いただいた「学校教育診断票」のご協力ありがとうございました。対象は2年生と5年生でしたが、現在集計を終えたところです。今後結果を分析し、保護者のみなさまにお知らせしたいと思います。



### 2月の予定

- 1 日(水) 小学校入学説明会(14:00~)
- 3 日(金) 5年社会見学(ダイハツ)
- 8 日(水) 授業参観
- 10 日(金) 集金引き落とし日  
6年租税教室
- 11 日(土) 建国記念の日
- 13 日(月) 6年薬物乱用防止教室
- 22 日(水) 第3回市内一斉パトロール
- 25 日(土) 登校日
- 27 日(月) 小学校体験入学(10:00~)

### 校長の SASAYAKI・TSUBUYAKI・BOYAKI

新しい年を迎えました。平成になってもう29年も経つんですね。もちろん子どもたちは平成生まれですが、親世代も平成生まれの方がだんだん多くなっていくのですね。昭和生まれの私は、昭和が遠くなっていくのに少し寂しさを感じます。

今年は酉年、にわたりのように飛べない鳥ではなく、想像上の鳥ではありますが鳳凰が大空に高く羽ばたくように、みなさんにとって飛躍の年となりますようにお祈りいたします。

さて、2016年は、江戸時代の京都で活躍した天才絵師、伊藤若冲の生誕300年ということで、テレビ番組でも注目されていました。(2015年は淋派誕生400年でした。) たまに美術館へ行って、歴史的な絵画や現代アートを見るとたいへん刺激を受けます。

また、昨年はウルグアイの前大統領で世界一貧しい大統領として知られるホセ・ムヒカ氏が来日しました。彼の演説は、私たちに「幸せ」とは何かを考えさせられるものでした。富や消費社会に翻弄される自分や社会が恥ずかしく思えます。

子どもを育てたり、友達と仲良く過ごしたり、人に優しく接したり、と人間愛に包まれた中で人生を過ごすこと、これが大切だと再認識させられました。加えて、本を読む、映画を見る、音楽を聴く、などして楽しむ、さらに絵を描く、音楽を奏でる、スポーツをする、などして楽しむ。このように文化や芸術を楽しむことは、生活や人生そのものを豊かにすることに繋がります。そして、教師という職業は、それに携わる職業であり、そのことに誇りを持ちたいと思います。

「いまここにしかない わたしのいのち あなたのいのち」全ての命が、大切にされ、精一杯生きることが出来る社会をめざしたいものです。